

いつもありがとうございます。

W23 青果発注書をお送り致しました。

御注文のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

・奈良県 特別栽培 小林さんのトマト (有安海)

■測定者 吉田紗知子
■奈良県産 小林さんのとまと 測定日 2025/7/15

測定日	産地・生産者	品名	1玉の重量	硝酸態窒素濃度 ppm	糖度 度	リコペン μg/100g	β-カロテン μg/100g
2025/7/15	奈良県 小林さん	とまと	127.5g	検出せず	6.1	10,221	2,949

小林さんのとまと 127.5g **カロテノイド**



糖度 **6.1** 度
硝酸態窒素 **検出せず**
リコペン **10,221**
β-カロテン **2,949**

測定日	産地	品名	品種	リコペン	β-カロテン	糖度
				μg/100g	μg/100g	度
2025/7/15	奈良県	小林さんのとまと	りんか	10,221	2,949	6.1
2024/6/13	奈良県	小林さんのとまと	りんか	5,948	159	7.0
2024/6/13	奈良県	小林さんのとまと	りんか	5,705	218	6.4
2025/5/21	高知県	とさいずまとまと	桃太郎	1,938	1,032	8.8
2025/4/9	高知県	とさいずまとまと	桃太郎	7,020	1,003	7.5
2024/10/18	高知県	とさいずまとまと	桃太郎	5,140	1,671	7.9
2024/2/14	高知県	とさいずまとまと	桃太郎	5,873	701	7.2
2025/6/27	岐阜県	加藤さんの清見とまと	麗月	6,305	1,425	5.1
2024/10/17	岐阜県	加藤さんの清見とまと	麗月	5,170	408	6.8
2024/8/27	岐阜県	加藤さんの清見とまと	麗月	3,481	1,422	5.8
2024/7/30	岐阜県	加藤さんの清見とまと	麗月	3,000	540	6.3

先ずは、昨年取扱時と他産地の成分測定の結果です。

この測定で『小林さんのトマトの糖度が高いでしょ』と言いたかったのですが、アルファーが取り扱っているトマトは、ほとんどの産地で糖度が6度を超えているので、思っている比較の表には、良い意味でなっていませんでした。

市場に出回っているトマトの糖度は、だいたい4度前後で高いものでも5度程度です。ですが、上右の画像を見てもらえば分かりやすいのですが、アルファーが栽培してもらっている生産者さんのほとんどは6度を超えるものがほとんどです！高いものは9度近くと、フルーツトマトに匹敵するほどの高さを記録しています。

気になる栽培の特徴としては、やはり土づくりに関しての力の入れ具合です。大前提として、有機質の肥料を与えることは当たり前ののですが、その有機肥料を独自で配合してしまうほどに、土づくりに力を入れられており、畑の状況によりその配合を変え、使い分けるほどです。

しかし、化学肥料を全く使わないというわけではなく、適時適切な不測の事態が起きたタイミング・量を計算し、必要最低限の化学肥料を使います。

そうすることで、土づくりに一役買ってくれる微生物たちを守りながら、不測の事態の対応を行っています。

最近諸事情があり、色んなスーパーでトマトを買う頻度がとても増えたのですが、トマトという品目に力を入れているお店と、そうでないお店と、違うように思います。

トマトという品目は構成比の高い品目になっているにも関わらず、

品目の中で、どういうコンセプトで品揃すべきなのかを
見失っているお店もあるように見えました。

同一品質で単に他産地のトマトを品揃えしたり、
内容量違いの品揃えをしても、その時の気分で購入するかが決まるだけで、
一人でも多くのお客さまにトマトを買ってもらえる売り場ではないように感じます。
そうすると品質面で松・竹・梅の品揃えをすることが、
幅広いお客さまからの支持を得やすいと感じます。

小林さんのトマトはその点では、
一番目立ちやすいポイントとしては、やはり糖度の高さになります。
市場に出回る一般的なトマトの糖度は高くとも5度程度ですが、
小林さんの栽培するトマトに関しては、
6度以上は当たり前を記録しており、高ければ7度を超える個体も少なくありません。

お客さまが何を求めてトマトを選んでいるのか、本当は欲しいトマトのランクがあるが、
お店に並んでなければ、並んでいるお店に行くのは当たり前と思います。

売上を上げようと思えば、来店人数を増やさなければ、
よほどの策を練らない限りは増やすことは難しい。
逆に言えば、簡単ではないのですが、来店員数を増やすことさえできれば、
売上を増やすこと自体は、難しくなくなってしまう。

ではどう来店人数を増やすかを考えなければいけない。
当然のことながら、今を今後も続けていては、来店人数も来店してくれる客層も、
ほとんど変わらないことは理解してもらえそうです。

考え方はとてもシンプルで、来店してもらいたいと考えている客層が好む商品ランクを一定の構成比率で売り場に陳列することです。
一定の構成比とは、そのランクの商品が売場で認知されやすい割合になります。

何かを変えなければ、来店人数が勝手に増えることは絶対はないし、売上を上げることも、一朝一夕にはとても難しいです。

先ずはこの小林さんのトマトで、
トマト売り場の構成を考えてもらえるきっかけになってもらえると
アルファーとしては非常にうれしいです。

・味の濃いさに注目してほしい！ 鹿児島県 特別栽培 南国与論の新物 里芋

(販促部：生島 麻亜子)



『与論の里芋』が今週から新登場になります！
この里芋は、
お客さんからも「美味しい」と
お声を頂いている商品です。

美味しさの理由はいくつかありますが、

- ・産地の与論島が、里芋栽培の適地条件の「粘土質の赤土」であること
- ・ミネラルが多く供給されていること

この二つが大きいと考えています。

植物が成長するうえで、土壌のミネラルバランスが重要なのはもちろんですが、

神戸女子短期大学が行った研究で、

「ミネラル分が多く含有される時期には、

旨み成分であるグルタミン酸も多く含有される傾向にある」というデータが出ていました。

産地の与論島は、土壌がサンゴ礁由来である上、

周りからも潮風によってミネラル分が供給されています。

農家さんの栽培技術と、良い土壌。

この2つが揃えば美味しくなるのは当然です。

実際に以前試食した際も、芋っぼい臭みがなく、

甘みに加えて、里芋自体の味を感じました。

下の表は、2024年の成分測定の結果になります。

測定日	産地 生産者	品名	品種	検体	重量	硝酸態窒素濃度平均 ppm	糖度
2024/6/6	鹿児島県 麓さん	与論の里芋	石川早生	A	108.5g	16.8	6.4
				B	108.6g	10.1	5.8
				C	76.2g	13.6	7.5

去年は線状降水帯で畑が被害を受けた為、取扱いはしていませんでしたが、

与論の里芋を含め、弊社の里芋の測定は 10 年以上前からしており、そのデータを蓄積しています。

糖度の高さ=味の濃さとは言い切れないのですが、
硝酸態窒素の濃度が低いと、その作物自体の味がダイレクトに感じられ、糖度も数値以上に感じるということは、測定を続けてきてわかったことです。

いわゆる アク の強い野菜であるごぼうならば、硝酸態窒素濃度は 500ppm 以上検出されることもありますし、ほうれん草などの葉物であれば、ものによっては 1,000ppm を超えることもあります。

ここで上の里芋の結果を見てみると、ほとんどが 10ppm 台からそれ以下の数値で出ています。糖度が一桁台でも、味を感じる理由がそれだと思えます。このひとあじもふたあじも旨みのある里芋、一度食べてもらえれば、そのことを きっと分かってもらえます。

是非、御取組みの程、宜しくお願い致します。

・土の恵みを頂き、育つ。【宮崎県産 須川さんの土育ちパプリカ】

(販促部:吉田紗知子)



パプリカは成長時、天候や気温などの変化に敏感です。

収穫が少なく一時休止・一気に収穫でき豊作

といった変化が週替わりで見られたり等

注文休止・再開の切り替えが激しいながらも、

注文時の御対応・返答いただきありがとうございます。

現在、Lサイズは休止中ですが、Mサイズは登場中のパプリカ。

須川さんのパプリカは、肉厚なので

Mサイズでも厚みやボリュームを感じます。

一般的にパプリカは、赤い個体の方が甘みが強く感じられ、
アルファーで測定した際も、
赤:6.5度 黄:5.7度 (2026/3/9 測定時数値)と差が見られました。

ですが、そもそも須川さんのパプリカは
一般的なパプリカと比べ、糖度が高めなので、
赤・黄色両方で、十分甘みが濃く感じられると思います。
濃い味わいは、土耕栽培パプリカならではの強みです。

水耕栽培が一般的なパプリカですが、
土壌が年月を重ね積み上げてきた栄養や恵みを吸って育つ
土耕栽培は、アルファーでも特別なこだわりを感じています。

夏の暑い時期は、黄色パプリカの軽やかな色合いと
爽やかな甘みや、ほのかな酸味も料理に合うのかなあと感じます。

見た目や用途で需要が変わるパプリカ。
発注書などでご案内が出来た際には、
是非赤・黄色共にご検討いただければと思います。

・ピーマンの次の産地候補。 (吉田麻衣)

今回も次の新登場予定の話になります。

毎年6月末から7月頭に

高知県産特別栽培山本さん達の黒潮ミネラルピーマンが終了次第、

次の産地にあれこれと苦労を重ねた割につながらないという感じになっていましたが、

今年は兵庫県丹波市でご縁があり

新しくピーマン農家の李さんとお付き合いが始まることになりました。

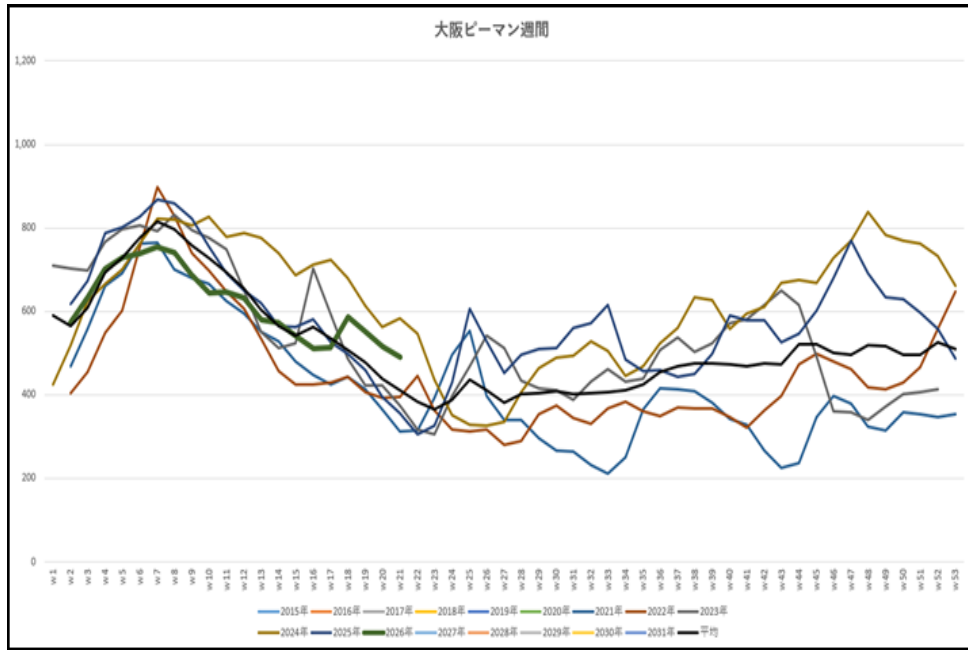


期間は6月中旬ごろから10月末ごろの
おおよそ5か月間

ちょうどミネラルピーマンが終了する少し前から始まり、
開始してから少ししたら終わるというように
ほぼほぼ間を埋めてくれる生産者さんとなります。



先日行ってきた
5月19日の写真では
ピーマン苗はまだ定植して間もないた
め、まだまだでしたが
ここから1ヶ月ほどで
収穫できるようになるということです。



ピーマンの相場は今のところこんな感じです。

2024年よりは安いけど例年と比較すると十分高いという感じです。

直近までは安定して下がっていましたが、ここからやや上昇していく様子。

加えて7月末ごろからは年によって

動き方が大幅に変わるので予想が厄介になりそうです。

・今週の成分測定レポート (吉田紗知子)

■ 愛媛県産 清流ねぎ 鴨頭ねぎ

測定日	産地・生産者	商品名	品種	重量	測定部位	硝酸態窒素	糖度
						濃度 平均	
2026/5/18	愛媛県産 ノムランド	清流ねぎ	鴨頭ねぎ	30.7g	あん	検出せず	—
					青い部分	検出せず	7.2
					白い部分	検出せず	7.3
					根元	検出せず	6.5



愛媛県・ノムランド さんの、
清流ねぎの測定を行いました。
品種は、鴨頭ねぎです。

前回は今年の 2026/2/20 に
測定を行っています。

小ねぎのような細い姿で、
白い部分がほとんど無い青ネギです。

葉の青い部分の内部に含まれる「あん」は、採取する事が出来ませんでした。

硝酸態窒素濃度は、全ての部分で検出しませんでした。

糖度数値について、

【青い部分】6.6➡7.2 度【白い部分】6.4➡7.3 度【根元】5.5➡6.5 度

となっていました。すべての部分で数値が上がっています。

アルファーで過去測定したネギと比べると、栗原さんの白ねぎに近い数値帯となっています。

・今週の栽培履歴報告 (中澤佐江子・中澤和大)

■長崎県産 特別栽培 なんぶいんげん

品目 インゲン

品種 サーベル、スーパーステイヤー、江戸川

特別栽培農産物

栽培責任者 金井 圭司

住 所 長崎県南島原市北有馬町戊 2465-1

連 絡 先 0957-84-3393

確認責任者 ながさき南部生産組合 中村 大介

住 所 長崎県南島原市北有馬町戊 2465-1

連 絡 先 0957-84-3393

■計画

節減対象農薬 5回 当地比 5割減

化学肥料(窒素成分) 10kg 当地比 5割減

■実績

高橋和秀さん(圃場 2-1 4a) 0kg、2回 を表示
他を入手次第、更新します。

■台帳 NO.3504

生産者 金井 圭司 他 4名

栽培面積 24a (昨年 21a)

予想反収 2,000kg/10a (昨年 1,600kg/10a)

収穫期間 2026/5/上旬 ~ 7/中旬

ネオニコチノイド農薬使用なし*

■今季の作柄

1 天候の影響や病害虫 : 2 やや悪いが一人、3 順調が二人。

2 実の大きさ : 例年並みが一人、他二人は未回答

3 収穫時期 : 普通が 3 人

コメント : 良いいんげんができています とのことでした。

.....

■兵庫県産 依兼さんのペリーラ

品目 シソ(ベビーリーフ)

品種 ペリーラ

水耕栽培 (特別栽培では対象外となります)

生産者 まるよ促成農園 依兼 計博

住所 兵庫県加東市山国 2013-166

農薬 栽培期間中 不使用

(化学肥料(窒素成分) 3.5kg)

■台帳 No.3500

圃場面積 20a

栽培台 8 台 1 台に 2 レーン

周年栽培 年間通して 20 日から 40 日間で播種から収穫まで繰り返し行います。

■井戸水(汚染源なし、2 年前水質検査・問題なし)

夏は 1 作毎に養液入れ替え 夏以外は入れ替えしない

もともとは土耕栽培をされています。

■セルトレイを使用、

■培地 パーライト、バーミキュライト : 2 : 1 (再利用あり)

■今季の作柄

天候の影響や病害虫 : 3 順調

実の大きさ : 2 例年並み

収穫時期 : 2 普通

コメント : 水耕栽培についてはまだ試行錯誤中で、

培地の入れ替えや別の素材の培地を使えないかを検証したいと考えています。

夏は天候の影響を受け、栽培が安定しないところがありますが、改善されてきており、

より安定した栽培を目指したいと思います。

.....

■山形県産 有機栽培 舟形マッシュルーム【ブラウン・ホワイト】

品目 マッシュルーム

品種 ホワイト・ブラウン種

有機農産物

生産工程管理者 有限会社舟形マッシュルーム

住所 山形県最上郡舟形町長沢 6831

認証機関 有限会社リーファース

■台帳 NO.K35

栽培面積 107.26a 68 棟

収穫量： 年間 650 t

1,800kg/1 日収穫

種菌形状： 成形種菌、菌床栽培、容器： 箱、常圧殺菌

フレームハウス 加温、電力

菌床処分は畑の肥料に。

■**行程**は コンポスト製造 → 床詰作業 → 植菌作業 → 覆土作業 → 発生 →
収穫出荷作業 → 廃床作業

全行程 43 日程度

各サイクル、収穫期間 1 フラッシュ 10 日間と 4 フラッシュ … (一斉発生)

■日本経済新聞 2026 年 4 月 8 日

ホクトが山形の舟形マッシュルームを子会社化 商品拡充へ

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOCC089G30Y6A400C2000000/>

.....

■ 愛媛県産 清流ねぎ

品目 ネギ

品種 鴨頭ねぎ

栽培概要

確認責任者 株式会社ノムランド 井上 桃子

住所 愛媛県西予市野村町野村 6-23-1

■ 計画

農薬は特になし

化学肥料(窒素成分) 30kg (慣行基準 23kg)

■ 実績 15a の圃場

節減対象農薬 5回 当地比 5割減(実績)

化学肥料(窒素成分) 23kg 0割減

■ 台帳 NO.3503

全圃場 面積 400a 36枚

周年栽培 再生栽培 (根きりねぎ)

提出の圃場 4/16~30 収穫分。 2027/1/31 ごろ 終了予定

ネギの再生 (収穫回数)は 一般的に 3回程、刈り取る事が可能です。

■ ネギの再生栽培(一度収穫した根本から再び葉を伸ばして収穫する方法)

における農薬回数の考え方は

「収穫ごとに使用回数のリセットされるのが基本的ルールです。(FAMIC より)

ですが同じ農薬を倍の回数使える訳ではありません。

農薬ラベルに記載事項を遵守する必要があります。

■ 今季の作柄

1 天候の影響と病害虫： 2 やや悪い

2 葉の大きさ： 2 例年並み

3 収穫時期 : 2 普通

コメント : 順調に生育しております。

■ 肱川清流ネギ

愛媛県大洲市で冬場に見られる「肱川あらし（ひじかわあらし）」は、
上流の大洲盆地で発生した霧が、冷気の強風（あらし）に乗って肱川を下り、
河口の伊予灘へと一気に流れ出す世界的にも珍しい気象現象の事。
50 年以上前は、 肱川おろし と呼ばれていた。

.....

■ 兵庫県産 伊吹さんの淡路島玉ねぎ・白玉ねぎ

品目 タマネギ

品種 七宝・アンサー・ターザン・もみじ 3 号・もみじの輝・ホワイトベアー(白)

特別栽培農産物

栽培責任者 伊吹 智則

住所 兵庫県南あわじ市松帆北方 609

連絡先 0799-36-4050

確認責任者 伊吹 彩子

住所 兵庫県南あわじ市松帆北方 609

連絡先 0799-36-4050

■ 品種 七宝・アンサー・ターザン・もみじ 3 号・もみじの輝

節減対象農薬 19 回 当地比 5 割減 (計画)

節減対象農薬 15 回 当地比 5 割減 (実績)

化学肥料(窒素成分) 6kg 当地比 5 割減(実績)

■ 品種 ホワイトベアー(白)

節減対象農薬 14 回 当地比 5 割減 (計画)

節減対象農薬 13 回 当地比 5 割減(実績)

化学肥料(窒素成分) 6kg 当地比 5 割減(実績)

■台帳 NO.3505

全面積 200a 昨年 170a(もみじ3号増)

反収 5 t

品種	面積	収穫	播種	定植
七宝、アンサー	30a	5/12~5/20	9/7~26	11/15~11/20
ターザン	35a	6/1~6/10	10/5	12/16~
もみじ3号	105a	6/10~25	10/16~26	2/2~26
ホワイトベアー	15a	5/10~5/30	9/26	12/2~

■肥料は、不使用でしたが、ベト病が発生し、化成を使い始めたそうです。

表示は 昨年まで不使用から 5割減に変更。

■農薬は、前年実績は 15回、ホワイトベアーは 13回

今季は、計画(19回と、14回)です(これで削減率を計算)

行ラベル	合計 / カウント	行ラベル	合計 / カウント
☐ 土壤消毒	1	☐ 土壤消毒	1
ダゾメット	1	ダゾメット	1
☐ 除草	4	☐ 除草	4
テブクロキシジム	1	テブクロキシジム	1
プロスルホカルブ	1	プロスルホカルブ	1
ベンタゾン	1	ベンタゾン	1
ペンディメタリン	1	ペンディメタリン	1
☐ 殺虫	2	☐ 殺虫	1
スピネトラム	1	スピネトラム	1
フルキサメタミド	1		
☐ 殺菌	8	☐ 殺菌	7
アゾキシストロピン	1	アゾキシストロピン	1
ピラクロストロピン	1	ピラクロストロピン	1
フルジオキシニル	1	フルジオキシニル	1
ベンチオピラド	1	ベンチオピラド	1
ボスカリド	1	ボスカリド	1
マンゼブ	2	マンゼブ	1
メタラキシルM	1	メタラキシルM	1
銅	0	銅	0
☐ その他	0	☐ その他	0
展着剤	0	展着剤	0
総計	15	総計	13

農薬明細の予定数で、

左下の表 七宝、ターザン他 15回、右下の表、ホワイトベアーが 13回です。

■今季の作柄

1 天候の影響や病害虫 : 1 悪い か 2 やや悪い

4 月末からの長雨・気温の暖かさでべト病が発生してきている

2 実の大きさ :

大玉傾向 2L・6割 L・3.5割 M・ほとんどないかも・・・ (白玉はL中心)

3 収穫時期 : 1 例年並み

コメント :

天候で病気が出る年になっています。早めに冷蔵庫に入れていただけると助かります。

大玉傾向の年なので日持ちもしにくいと思います。

肥料について

年内定植ですが作業効率のため有機肥料 50%以上のロング肥料

(らくまるスーパー286) を使い始めました

最後の止肥 (3月) に天然素材を1回使用しています

年明け定植はすべて天然素材を使用しています・3回

.....

■長崎県産 特別栽培 なんぶとうもろこし

品目 スイートコーン

品種 ゴールドラッシュ

特別栽培農産物

栽培責任者 荒木 慎吾

住所 長崎県南島原市北有馬町戊 2465-1

連絡先 0957-84-3393

確認責任者 農事組合法人ながさき南部生産組合 中村 大介

住所 長崎県南島原市北有馬町戊 2465-1

連絡先 0957-84-3393

■計画

節減対象農薬 6回 当地比 5割減

化学肥料（窒素成分） 2.1kg 当地比 9割減

■いったん計画表示を作成、

実績入手次第、実績表示に切り替えます。

■台帳 NO.3501

生産者 荒木慎吾 他 5名 全 490a

(昨年 全 5名 全 513a)

反収 4500本/10a

収穫期間 2026/5/下旬～6/中旬

ネオニコチノイド使用あり(リストには入っているが、実績は無)

■今季の作柄

昨日圃場の確認行って来ました。(4/25)

1 天候の影響や病害虫については、今の所大きく被害は有りませんが
強風の影響で 2回倒れましたが、根張りが良かったので、その後は
また起き上がっています。おおむね順調です。

2 実の大きさについては、一部の生産者でやや小ぶりの傾向が見られますが
今の時期はヤングコーンの摘果中なので、これからの肥大に期待するところです。

3 収穫時期については、例年通り 5月 20日あたりからの収穫になりそうです。

コメント 1月下旬より種蒔きし、大事に育てました。これから実が出来るにつれて
サル、イノシシ、アナグマ、カラスなどの動物にも狙われますが沢山食べないで欲しいです。

・新登場

長崎県産 特別栽培 なんぶいんげん・・・w28 ごろまで。

長崎県産 特別栽培 なんぶ新メークイン・・・在庫限り。

鹿児島産 特別栽培 与論の新物里芋・・・w29 ごろまで。

和歌山産 横畑さんの梅・南高梅・・・6月10日ごろまで。

・商品案内変更

月間テーマを5月から6月に変更

新登場予定商品追加

鹿児島産 高橋さんの新じゃがいも・・・価格変更。値下げ。

長崎県産 特別栽培 なんぶ新じゃがいも・・・価格変更。値下げ。

青森県産 特別栽培 岩木山りんご・シナノゴールド・・・在庫販売。

熊本県産 特別栽培 吉田さんのしらぬい・・・在庫販売。

福井県産 ほっこり金時・・・数量調整の可能性あり。

・終了

大阪府産 式森さんの紅甘夏

宮崎県産 須川さん達の土からパプリカ・黄

山形県産 遠藤さん達のキクイモ

高知県産 とさいずまとまと

青森県産 特別栽培 岩木山りんご・王林

・6月新登場予定

兵庫県産 養父養生 生にんにく・・・w23 より新登場予定

長崎県産 特別栽培 なんぶタカミメロン・・・w23 より新登場予定

兵庫県産 夏のサラダちゃん・・・w24 より新登場予定

兵庫県産 あまたまちゃん・・・w24 より新登場予定

奈良県産 小林さんのきゅうり・・・w24 より新登場予定

それでは、今週も御注文のほど、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

有限会社アルファー

吉田清一郎